



9条世界会議での三風太鼓

プラス勧告完全実施せよ
府労組連決起集会

11月15日 16時30分
大阪城公園教育塔前広場

発行 大阪市学校園教職員組合 大阪市中央区法円坂1-1-35(大阪市教育会館内)

TEL 6910-8700 http://osaka-shikyo.sub.jp/
FAX 6910-7990 E-mail o-sikyol@sea.plala.or.jp



教員公募制、事務職員 同一校勤務年数短縮 人事異動方針の改悪を許すな！

市教委は、年度末教職員人事異動の基準等について提案を行いました。①小・中学校の教員公募制の導入、②事務職員の同一校勤務年数の短縮と、すべての事務主幹及び事務主任は、「学校間連携」のため、同一校勤務年数にかかわらず人事異動の対象とする、③「雇用と年金の接続」がその内容です。(10月21日付人事闘争速報参照) かつて教育汚職を引起こした、「主に現任校の校長と受け入れ側の校長双方が同意することによって行う、いわゆる連署人事(異動)のような希望転任制(F/A制)や教員公募制、校長と一部の教職員で学校教育を進めようとするやり方

は、教育にとって重要な教職員の共同を破壊するものです。これまで「異動の対象となる同一校勤務年数」は、教員も事務職員も同じでした。今回の短縮は重大な変更です。「経験を豊かにし、力量を高めるため」(市教委提案)にも、「教育活動の充実」にとっても、「短縮」でよいのか十分に検討されなければなりません。また、「全ての事務主幹及び事務主任については、同一校勤務年数にかかわらず、人事異動の対象とする」としていることも重大です。大阪市は人事異動方針の改悪を許さず要求書を提出し、希望尊重の人事実現のため全力を上げます。

9条世界会議に5千人

アジア民衆の安全保障

平和を愛する世界中の人たちと日本国憲法9条の意義を考える「9条世界会議」が、関西2013が10月14日開かれ5千人が参加しました。国際民主法律家協会(ロラン・ベイユ副会長(仏)、元米陸軍大佐・外交官のア・ライトさん、チニシアの弁護士ベ

ルハッセン・エリールさんなど18人の海外代表も参加しました。韓国のイ・キョンジュ氏は、「9条がなかったら、果たして軍国日本をアジアの友達にしてくれたか」と問い掛け、安倍首相や橋下徹大阪市長・維新の会代表の一連の発言を批判しました。

改憲許さぬ地域での共同を

権利侵害「特定秘密保護法」

渡辺治一橋大学名誉教授の講演「安倍政権の新たな改憲戦略と運動の課題」(大阪憲法会議・共同セミナー)主催、秋の憲法学習講座、10月29日(日)を紹介します。安倍首相は集団的自衛権行使を中心に解釈改憲を進め、本国会で、「特定秘密保護法」の成立を狙っている。秘密の対象や範囲が国民に明確にされないことに加え、都合の悪い情報を隠蔽し、国民の知る権利を侵害している。原発事故やTPP交渉の正確な情報は、大多数の国民には隠されているにも

成績公表 市教委が校長に強制 批判の声ひろがる

大阪市教育委員会 は10月8日学校管理規則を改正し、校長が「学力テスト」の結果を速やかに公表することを決めました。公表しない校長は処分の検討対象と

学力テスト公表 実施要領を逸脱

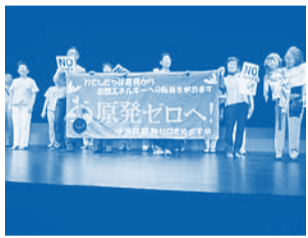
文科省、大阪市教委に

全府学力調査の学校別成績(平均正答率)を公表する。大阪府教委が8月15日、大阪府教委に

する(市教委)としていたため、今回の決定は市教委による結果公表の強制に他なりません。文科省も「方針は実施要領に違反している」としています。

学校別結果公表は、学校の序列化や過度な競争を促すため、子どもや保護者・教職員を巻き込んだ競争教育をいっそう激化させるもので、学校選択制にも大きく影響し、学校統廃合を加速させます。大阪府教委は翌9日、見解を発表し、「子どもを傷つける全国学力テストの学校別成績の公表に反対の声を上げよう」と呼びかけました。大阪府教委・市障教・市高教・全教大教組各単組・労働団体・市退教・新婦人・個人など400近い撤回の要請が市教委に届けられました。

原発ゼロの会・大阪発足2周年のつどい



原発ゼロの会大阪 2周年のつどい

原発ゼロの会・大阪発足2周年のつどい

いが開催され550人が参加しました。「原発のコスト」著者、立命館大学の大島堅一教授が記念講演で、総括原価式で国民が支払った電力料金の一部が原子力損害賠償支援機構に負担金として入るなど、事故コストは実

とで国に訴えたいという話。手つかずの田んぼには、瓦礫や津波で流された船。現地の人の生活や困っていることはあまり伝わってきいていないと思えました。自分たちができることは少ないけれど、被災地の現状や原発事故の問題をしっかりと知って、まわりの人に伝えるところから始めていく必要があると改めて感じました。

福島を訪れて 現状を伝えたい

全国女性教職員交流集會に青年部から参加し10月12日から14日まで宮城・福島を訪れました。たくさんの方の衝撃、想像を絶する中での頑張りに、何ともいえない気持ちになりました。福島県産の米や魚は測定して基準値以内のものを出している、逆に安全と証拠の隠滅でしかないと浪江町に残るこ

教え子を再び戦場に送るな！

仲間が増えた！

教研分科会に つながりの青年参加

今年もよりよい教育をすすめ、仲間を増やそうと、教育研究集會が開かれました。各分会や専門部のつながりで、未組合員の青年が参加しました。北大阪支部のある分会では先輩が、養護教諭の講師の青年や、他支部に変わった講師の青年も誘って参加。城北支部では、分会に丁寧に参加をよびかけ、青年をふくむ多くの参加者がありました。東南支部では、分会の役員が先輩が5人の未組合員の青年を誘って参加。採用試験を目指している青年が、加入を約束。養教部、障教部、事務職員部の分科会も、つながりの青年がたくさん参加。青年部もエンディングを、はじめての青年と。このつながりを次の拡大に!!